

○道路予定区域の有効活用に係る入札型占用候補地の面積

	No	区別	路線名	工区名	事業延長 (m)	工事未着手の 道路予定地面積 A (㎡)	有効活用不可能面積			入札型占用候補 面積※3 A-(B+C+D) (㎡)	第2次道路整備 プログラム 図番号
							着工※1が見込まれる 面積 B (㎡)	土地状況※2により 活用不可能な面積 C (㎡)	既に占用中又は 公共用途や事業関連で 占用予定の面積 D (㎡)		
土地収用制度等活用路線	1	中原	国道409号	市ノ坪	600	752	0	290	0	462	①
	2		丸子中山茅ヶ崎線	小杉御殿	654	3,610	1,440	1,773	0	397	②
	3		苅宿小田中線	Ⅲ期	280	2,825	2,825			0	③
	4	高津	宮内新横浜線	子母口	245	1,221	0	423	0	798	④
	5	宮前	宮前6号線	野川	780	5,930	800	3,690	0	1,440	⑤
	6	多摩	川崎府中	枅形・生田	1,002	0				0	⑥
	7		横浜生田	東三田	1,240	4,144	4,144			0	⑦
	8	麻生	世田谷町田線	片平	1,322	1,228	0	1,134	0	94	⑧
	9		野川柿生線	王禅寺	468	994	0	744	0	250	⑨
整備推進路線	10	中原	東京丸子横浜線	市ノ坪	940	0				0	3
	11		苅宿小田中線	I 期	335	0				0	4
	12		国道409号	小杉	700	1,879	468	555	673	183	5
	13		国道409号	小杉御殿町	1,120	2,971	600	1,487	0	884	6・7
	14		宮内新横浜線	宮内	720	7,309	2,376	2,340	874	1,719	10
	15	高津	溝口南口駅前広場			0				0	12
	16		野川柿生線	久本	850	780	0	150	0	630	13
	17		丸子中山茅ヶ崎線	蟻山坂	661	3,169	3,169			0	14
	18		国道409号	北見方	764	549	0	5	0	544	16
	19	多摩	世田谷町田線	登戸	820	119	119			0	19
	20		登戸2号線	多摩沿線	300	0				0	20
	21	麻生	柿生町田線	柿生駅南口	320	2,481	1,630	851		0	22
	22		尻手黒川線	Ⅳ期	680	8,455	0	7,226	0	1,229	23
	23		世田谷町田線	上麻生Ⅰ期	340	3,023	3,023			0	24
	24		菅早野線	下麻生	560	5,060	0	2,283	429	2,348	26
	25		横浜上麻生	柿生陸橋	430	0				0	27
	26		横浜上麻生	下麻生	960	6,043	4,103	1,180	0	760	28
	27		町田調布	黒川	152	0				0	29
合計					17,243	62,542	24,697	24,131	1,976	11,738	

※1:3年以内に工事が見込まれる場合

※2:斜面地や狭小地、隣接地出入口として使用しているなどの場合

※3:平成28年7月時点の面積であり、用地取得の進捗に応じて面積は変動する

●この候補面積から、本来目的である道路整備に支障がないように、事業協力者や近隣住民などへの影響を配慮し、総合的な判断で公募地を抽出



ひと・もの・ゆめ 明日へつながる道

「小さな子供から大人まで、笑顔が絶えず、安心して暮らせる」
そんな社会を支える道路を「次世代へ引き継いでいく」という思
いを込めたメッセージです。

川崎市は、いつまでも「活力にあふれ賑わいのあるまち」でいら
れるように、市民の皆様と行政が目的を共有しながら、「魅力あ
るかわさき」をつくり上げていきたいと考えています。

【表紙写真】

上段右：(都)東京丸子横浜線(市ノ坪付近)
下段左：王禅寺ふるさと公園

第2次川崎市道路整備プログラム

検 索

お問
い合
わせ

川崎市川崎区宮本町1番地(事務所所在地：駅前本町12-1タワーリパーク17F)
川崎市建設緑政局計画部企画課
TEL 044-200-2781 FAX 044-200-3973

川崎市

平成28年3月

川崎市




```

graph TD
    Plan([Plan]) --> Do([Do])
    Do --> Check([Check])
    Check --> Action([Action])
    Action --> Plan
  
```

整備計画（平成28年度～平成37年度）

道路整備一覧表（プログラム対象路線）

■土地収用制度等活用路線

No	区別	路線名	工区名	H28～H37
①	中原	(国)国道409号	市ノ坪	計画期間内の完成に向けて最優先で取組を進めます
②		(都)丸子中山茅ヶ崎線	小杉御殿	
③		(都)刈宿小田中線	Ⅱ期	
④	高津	(都)宮内新横浜線	子母口	
⑤	宮前	(市)宮前6号線	野川	
⑥	多摩	(主)川崎府中	枳形・生田	
⑦		(主)横浜生田	東三田	
⑧	麻生	(都)世田谷町田線	片平	
⑨		(都)野川柿生線	王禅寺	

■整備推進路線

→：継続

No	区別	路線名	工区名	前期 (H28～H33)	後期 (H34～H37)
1	川崎	(都)川崎駅扇町線	扇町跨線橋		着手→
2	幸	(県)川崎町田	末吉橋	着手	完成
3	中原	(都)東京丸子横浜線	市ノ坪	完成	
4		(都)刈宿小田中線	Ⅰ期	完成	
5		(国)国道409号	小杉	→	完成
6		(国)国道409号	小杉御殿町Ⅰ期	→	完成
7		(国)国道409号	小杉御殿町Ⅱ期	→	→
8		(国)国道409号	宮内		着手→
9		(国)国道409号	下野毛		着手→
10	高津	(都)宮内新横浜線	宮内	→	→
11		(市)宮内新横浜線	等々力大橋	→	完成
12	高津	溝口駅南口駅前広場		完成	
13		(都)野川柿生線	久本	→	完成
14		(都)丸子中山茅ヶ崎線	蟻山坂	完成	
15		(都)溝ノ口線		→	→
16		(国)国道409号	北見方	→	→
17	宮前	(主)丸子中山茅ヶ崎	野川(高津)	着手	完成
18		(主)横浜生田	水沢	着手・完成	
19		(都)世田谷町田線	登戸	完成	
20	多摩	(都)登戸2号線	多摩沿線	完成	
21		(都)世田谷町田線	生田		着手→
22	麻生	(都)柿生町田線	柿生駅南口	完成	
23		(都)尻手黒川線	Ⅳ期	→	完成
24		(都)世田谷町田線	上麻生Ⅰ期	→	完成
25		(都)世田谷町田線	上麻生Ⅱ期	→	→
26		(都)菅早野線	下麻生	→	→
27		(主)横浜上麻生	柿生陸橋	→	→
28		(主)横浜上麻生	下麻生	→	→
29		(主)町田調布	黒川	完成	
30		(主)町田調布	市境		着手→

※路線名は事業種別を表します。(都)〇〇線は「街路事業」、(国)国道〇〇号・(主)〇〇・(県)〇〇・(市)〇〇線は「道路事業」に該当します。

■調整路線

隣接区間の整備状況などを踏まえ、着手時期について検討していきます。

No	区別	路線名	工区名
A	中原	刈宿小田中線	Ⅱ期
I	宮前	丸子中山茅ヶ崎線	野川(宮前)

前期(H28～H33)

■都市間連携や広域拠点の機能強化を図る「東京丸子横浜線」の全線完成

- 武蔵小杉駅周辺における交通円滑化など拠点地区の交通機能を向上するとともに、広域拠点にふさわしい賑わいの創出を支援
- 隣接都市へのアクセス性を改善するとともに、品川駅や新横浜駅など広域交通結節点への速達性を向上し拠点地区の広域性を強化

■交通結節点の機能強化を図る「溝口駅南口駅前広場」の完成

- 新たな駅前広場の完成により、駅利用者の利便性向上や周辺道路の交通環境を改善するとともに、バス利用の促進や新たな賑わいの創出を支援
- 乗換機能の向上により、高齢化社会においても公共交通の利用しやすさを確保

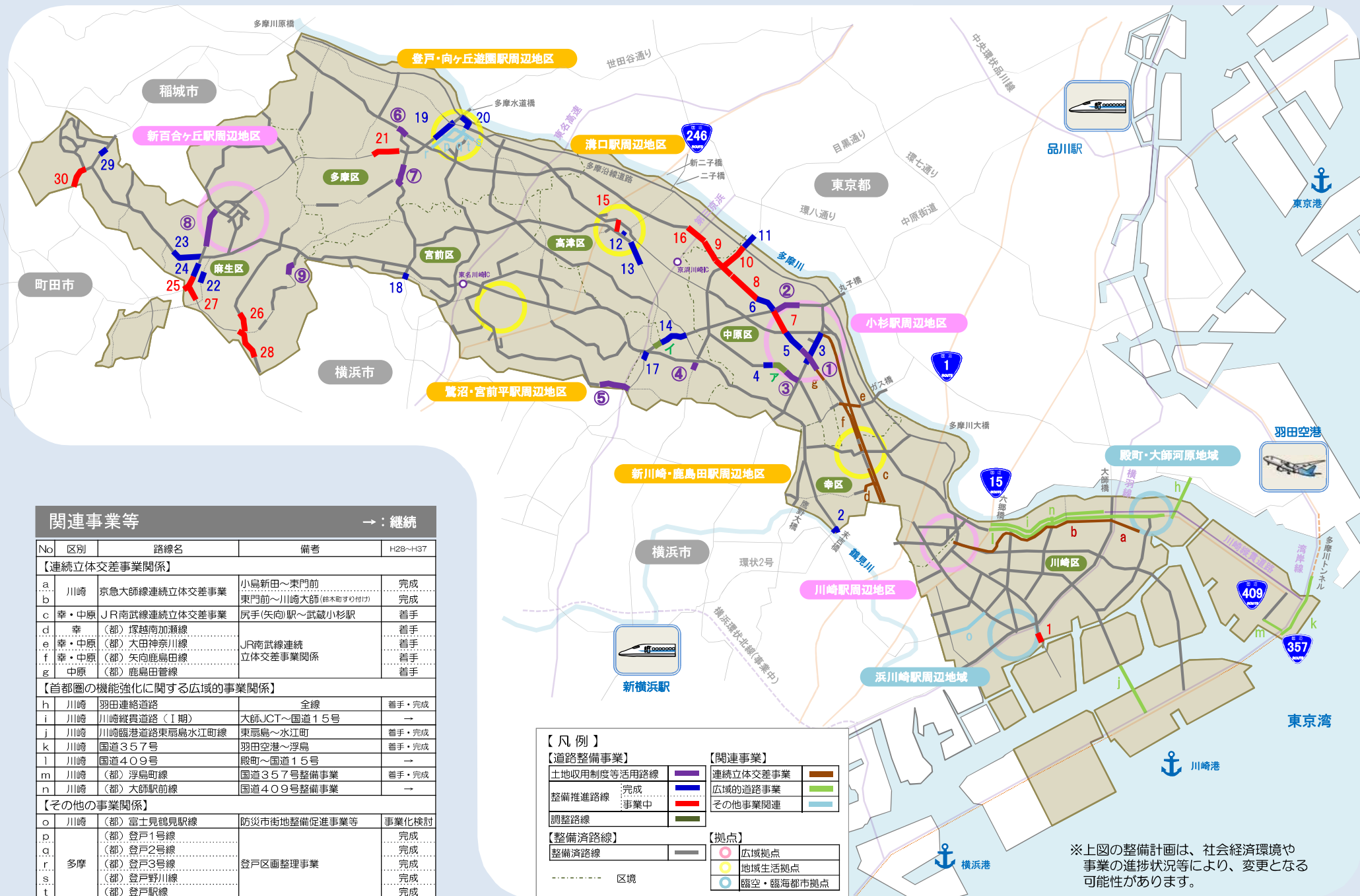
後期(H34～H37)

■市域を縦貫し東名高速と接続する「尻手黒川線」の全線完成

- 尻手黒川線の整備完成により、川崎臨海部から黒川地区に至る幹線道路ネットワークが完成し、沿線の各地区が東名高速道路と接続
- 川崎駅、新百合ヶ丘駅の広域拠点を連結するとともに、市域を横断する横軸幹線道路を連結し、災害時の交通機能の多重性を確保

■本市の都市拠点を連結する「国道409号」の完成に向けた全区間着手

- 臨空・臨海都市拠点である殿町地区や、川崎駅、武蔵小杉駅、登戸駅など市内各拠点を連結し、都市の生産活動や市民生活等へ幅広い波及効果を発現
- 東京・横浜と連絡する横軸幹線道路を相互に連結し、骨格的な幹線道路ネットワークの形成により、平時は交通渋滞の緩和、災害時には交通機能の多重性を確保



整備目標（平成28年度～平成37年度）

成果指標一覧

社会環境の変化を的確に捉えた道路整備を進めていくため、第1次計画の成果指標を一部改定し、計画期間における目標の設定を行いました。

活力

1-1 混雑時の走行性を向上させます

取組の方向性

効率的な経済活動や安全・安心な市民生活の実現には、都市拠点周辺などにおける速度低下の改善が必要であり、道路整備により交通の円滑化を図ります。

成果指標 混雑時平均走行速度

現況値

16.9km/h

平成37年度目標値

17.8km/h



(県) 扇町川崎停車場(南渡田付近) H26年度完成

1-2 道路ネットワークを強化します

取組の方向性

整備箇所の重点化や事業遅延への重点的な対応などにより、整備効果の早期発現と都市計画道路のネットワークを強化します。

成果指標 都市計画道路進捗率

現況値

68%

平成37年度目標値

71%

川崎区74%
幸区64%
中原区68%
高津区62%
宮前区87%
多摩区50%
麻生区58%

川崎区74%
幸区64%
中原区77%
高津区67%
宮前区90%
多摩区55%
麻生区65%

※都市計画道路の計画延長(305km)に対する整備済延長の割合



(都) 尻手黒川線(片平付近) H22年度完成

1-3 拠点周辺の利便性を向上させます

取組の方向性

都市拠点周辺に集中する自動車交通の適切な誘導や交通結節機能の向上などを図るため、都市拠点周辺の幹線道路の整備を重点的に進めます。

成果指標 拠点地区内の幹線道路整備率

現況値

川崎駅 100%
小杉駅 66%
溝口駅 71%
登戸駅 58%
新百合ヶ丘駅 86%

平成37年度目標値

川崎駅 100%
小杉駅 93%
溝口駅 81%
登戸駅 100%
新百合ヶ丘駅 95%

※中心駅から半径1km圏内の都市計画道路の計画延長に対する整備済延長の割合



(都) 東京丸子横浜線(市ノ坪付近) H26年度完成

1-4 駅利用の利便性を向上させます

取組の方向性

駅利用者の利便性向上や周辺道路の交通環境改善、また子どもから大人まで誰もが利用しやすい公共空間の形成や新たな賑わいの創出を図るため、駅前広場の整備を推進します。

成果指標 駅前広場の整備箇所数

現況値

12広場
/17広場

平成37年度目標値

16広場
/17広場

※都市計画決定された交通広場



武蔵小杉駅東口駅前広場(中原区) H25年度完成

1-5 広域拠点の機能を強化します

取組の方向性

リムジンバスなどが発着する本市各広域拠点と隣接する羽田空港など広域交通結節点を結び幹線道路の整備を進めます。

成果指標 交通結節点への都市計画道路進捗率

現況値

川崎駅 87%
小杉駅 86%
新百合ヶ丘駅 71%

平成37年度目標値

川崎駅 89%
小杉駅 89%
新百合ヶ丘駅 78%

※対象となる市内都市計画道路の計画延長に対する整備済延長の割合



(都) 東京丸子横浜線(市ノ坪付近) H25年度完成

安全・安心

2-1 安全性を向上させます

取組の方向性

幹線道路の整備による「歩車分離」や「ネットワークの構築」などにより、市民が安全で快適に移動できる交通環境の形成を図ります。

成果指標

事故件数

現況値

1,208件

平成37年度目標値

約1,150件

※市域の幹線道路における死傷事故の年間発生件数



(都) 向ヶ丘遊園駅菅生線(東生田付近) H22年度完成

2-2 災害時の対応力を強化します

取組の方向性

発災時の迅速な救難・救助活動や円滑な援助物資の運搬などが行えるよう、緊急輸送路の整備を推進します。

成果指標

緊急輸送路の整備率

現況値

84%

平成37年度目標値

88%

※緊急輸送路に指定された都市計画道路の計画延長(206km)に対する整備済延長の割合



(国) 国道409号(二子付近) H22年度完成

2-3 救命救急活動の支援を強化します

取組の方向性

救急救命センターへの到達性や災害拠点病院へのアクセス性の向上を図るため、周辺の幹線道路の整備を推進します。

成果指標

災害拠点病院アクセス路線の整備率

現況値

70%

平成37年度目標値

79%

※各拠点病院を中心に半径1km圏内における都市計画道路の計画延長に対する整備済延長の割合



(主) 横浜生田(菅生付近) H22年度完成

2-4 都市の防災性を強化します

取組の方向性

今後の法制度等の動向を踏まえ、引き続き無電柱化を推進していきます。

成果指標

無電柱化延長

現況値

48km

平成37年度目標値

国による今後の法制度等の動向により設定

※これまでの無電柱化計画における整備済延長



(都) 世田谷町田線(高石付近) H22年度完成

環境・魅力

3-1 沿道環境の改善を推進します

取組の方向性

騒音対策が必要な幹線道路については、道路ネットワークの強化により交通の分散化を進めるとともに、低騒音舗装の導入など沿道の生活環境に配慮した道路整備を進めます。

成果指標

低騒音舗装の整備延長

現況値

97km
(36%)

平成37年度目標値

116km
(44%)

※カッコ内の数値は、市が管理する幹線道路延長(267km)に対する低騒音舗装整備済延長の割合



国道409号(幸区遠藤町交差点付近) H26再整備

3-2 都市緑化を推進します

取組の方向性

良好な都市環境を形成するため、幹線道路の整備にあわせ道路緑化を推進します。

成果指標

道路緑化延長

現況値

102km
(56%)

平成37年度目標値

109km
(59%)

※カッコ内の数値は、対象路線延長に対する緑化延長の割合



市役所通り(本庁舎付近)

3-3 公共交通の利便性を向上させます

取組の方向性

都市拠点駅周辺は多くのバス路線が集中することから、交通の円滑化に向け道路整備を推進します。

成果指標

拠点駅周辺のバス路線の整備率

現況値

79%

平成37年度目標値

89%

※中心駅から半径1km圏内のバスが運行する都市計画道路の計画延長に対する整備済延長の割合



国道409号(市ノ坪付近) H26年度完成